

若杉・駒草会の皆様

秋田県立角館高等学校 創立100周年記念事業趣意書

角館高等学校は、前身となる旧制角館中学校と旧制角館高等女学校の開学から数え、歴史の大きな節目となる創立100周年を目前に迎えます。これを記念し、若杉・駒草同窓会による周年事業を明くる令和7年に催すことといたしました。

二つの母校は、郷土に顕彰される先人のみならず、当時の数多の人々の創意と熱意により、時をほぼ同じにして大正14年と昭和3年に開学しました。以来、時代と校是を映す営みから、郷土はもとより広い社会を支える人材を輩出し続け、それぞれに蓄えられた歴史と伝統は、仙北地域の核をなす学び舎が在ることを確かに現してきました。同窓の誉れを内心に抱くゆえんであります。

本年は、角館高等学校がさらなる高みへと歩みを進めるために統合された新生角館高等学校となって10周年を記念する行事が行われます。一方で、昨今の出生数の急激な減少という地域の実状がもたらす母校の変容が今後も想定されます。

このような現状にあり、創立から100年に積み重ねられた学校の伝統と栄光を、本地域をはじめ多くの方々と共有し、後世に継承するのみならず、新生角館高等学校の益々の発展を祈念して、未来へ繋ぐ記念事業を行うことは卒業生が集う同窓会の責務であると存じます。

つきましては、同窓会員の皆様の日頃の多大なるご支援ご協力に衷心より感謝申し上げながら、更なる輝きに向かうための創立100周年記念事業が有意義に成就できますよう、深いご理解とお力添えを賜りますことを切にお願い申し上げます。

記

《事業計画》

1 協賛金の募集 目標額:1200万円

会報でのお願いのほか、地域の方々へもお願いにあがらせていただきます。

どうかたくさんの皆様の温かなご支援をお願い申し上げます。

2 記念事業 令和7年10月頃の実施予定

①記念誌発行(贈呈と希望者) ②名簿発行(希望者) ③記念講演会

④学校へ記念品贈呈 ⑤祝賀会 ⑥広報・通信

⑦協賛企画事業

(同窓生企画による住民参加型の文化的事業や角高・南校の沿革展示事業等を予定)

令和6年3月吉日

秋田県立角館高等学校同窓会若杉・駒草会会長
創立100周年記念事業実行委員長

石川 円